

# 平成21年度

## 予算編成方針について

2008.10.20 総務部@財政課

# 予算編成の基本的な考え方

1

産業振興計画の実効性ある取り組みによる「経済の活性化」をはじめ、「5つの基本政策」に基づく事業のスピード感を持った着実な実施を図る。

「5つの基本政策推進重点枠」（21億円）の創設  
予算の質的転換による推進重点枠への加算制度の創設

2

県民サービスの向上と財政の健全化の両立を目指す。

立ち遅れている社会資本の整備と県民サービスの向上を図りつつ、事務事業の見直しや事業の質的な転換を進め、将来の財政運営の安定化を目指す。

投資的経費ゼロシーリング（平 5%）  
経常的経費 3%（平 15%）

3

財政の健全化に当たって四つの視点を重視する。

PDCAサイクルの徹底による財源不足額の圧縮  
議会での議論や「対話と実行」座談会などにおける県民の意見を踏まえた事業の見直し  
県債残高の抑制  
中期的な財政収支の好転

# 予算編成の重要なポイント

THEME

## 産業振興維新21

～ 県勢浮揚への第一幕 ～



維新に向けた三つの方策

その壹

**総額21億円の「5つの基本政策推進重点枠」の創設**  
事業の大胆な見直しとこれまでの節約により過去10年で最高となる21億円の特別枠を創設し、産業振興計画に基づく事業を中心に5つの基本政策の着実な実現を目指す。  
この特別枠は、平 当初予算における弾力的な経常経費（約100億円）の2割に相当する大胆な規模。

その貳

**予算の質的転換による重点枠への加算**  
さらに予算編成段階において、半ば義務的な事業の抜本的な見直しを行い5つの基本政策の推進に向けて質的な転換を図る場合には、5つの基本政策推進重点枠に加算する。

その参

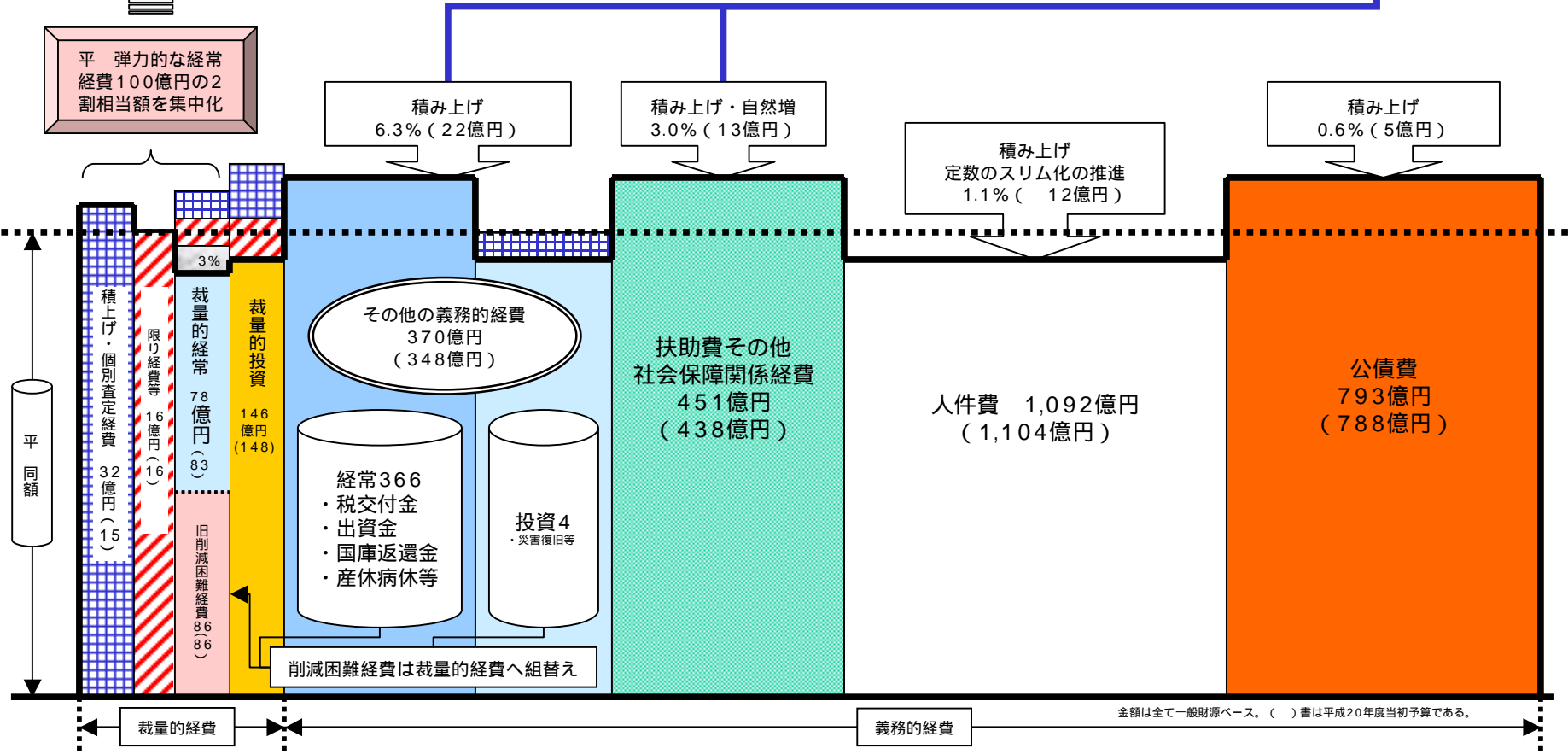
**投資的経費はゼロシーリングを確保（平 は 5%シーリング）**  
地域の産業と県民の生活を支えるために、普通建設事業費の総額確保を図り、立ち遅れたインフラの整備を推進する。  
大規模事業の実施や南海地震対策を含めると平 以上の予算を実現。  
経常経費は 3%シーリング（平 15%）に止め、県民サービスの確保と財政の健全化の両立を図る。



# 予算要求フレームの考え方

歳出予算要求枠（想定） 3,085億円（一般財源ベース） / 平 当初比1.9%増

「5つの基本政策推進重点枠」21億円 + 〔予算の質的転換による加算〕



# 予算編成の主なスケジュール（予定）

注）今後変更する場合があります。

2008 10月	20日 予算編成方針通知
11月	（上旬 「産業振興計画」中間取りまとめ） 20日 予算見積書及び予算見積概要公表資料財政課提出期限 25日～12月3日 各部局から予算見積概要の知事レク <b>NEW!</b>
12月	5日 当初予算見積概要の公表
2009 1月	中旬 財政課長内示、総務部長協議・総務部長内示 下旬 知事査定
2月	中旬 当初予算案記者発表